

とうきょう すくわくプログラム活動報告

施設名	メリー★ポピンズ 大山ルーム
施設所在地	東京都板橋区仲町 2-1 ジオ板橋大山 1 階
法人名	社会福祉法人どろんこ会

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

屋外活動の充実（焚き火体験、秘密基地作り）

〈テーマの設定理由〉

屋外活動の中で「火」に触れたり「みんなで協力して一つのものを作り上げる」といった経験がなかなか行えていなかったのでそこに焦点を当て、戸外活動の充実を図ろうと考えたため。

2. 活動スケジュール

12月5日（金）：焚き火体験

12月26日（金）：秘密基地作り

3月18日（水）：秘密基地作り

3. 探求活動の実践

〈活動の内容〉

【焚き火体験】

【活動までの流れ】

活動実施前に導入を行い、実際にろうそくの火を見たり、子どもたちに「火」についての質問を行ったりした。

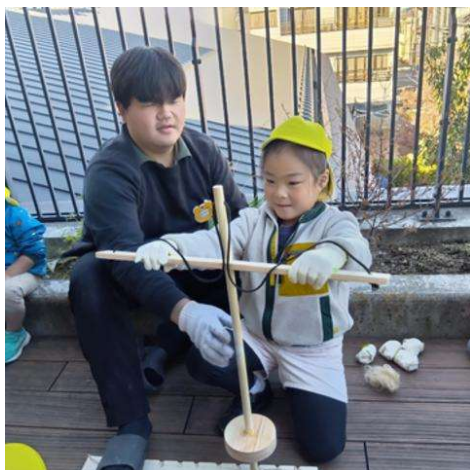
火起こしキットは5歳児中心に手作りした。

また、導入を行ったあとの戸外活動の際に枝や石などを集めて「焚き火ごっこ」をする姿も見られた。

【活動中の子どもの様子】

・用意した道具

枝（散歩先で拾ったもの）、薪、炭、トング、軍手、焚き火台、ブルーシート



・火起こしキットの使用では、バランスをとるのが難しく、苦戦している様子が見られたが保育者が支柱を支えることでバランスが取りやすくなっていた。

子どもたちも初めて使う道具に興味を示し、意欲的に行っていた。

火起こしキットでは火は実際にはつかなかったが「もう 1 回やる」と何度も挑戦する子どもいた。

・実際に薪や炭に火が付くと子どもたちからは歓声が上がっていた。

煙の臭いや熱さなど感じたことを友達同士で話す姿もあった。また、手を伸ばして暖を取る子どもいた。

・焚き火でお茶を沸かしてみんなで飲んだのだが「いつもよりおいしい」や「あったかい」などの声が聞こえた。

【秘密基地作り】

【活動までの流れ】

焚き火体験と同様、事前に「秘密基地について知っていることがあるか？」の質問を子どもたちにしたり「どんな秘密基地を作りたいか？」などイメージを考えたりする導入を行った。その後、活動実施までの間にブロックなどを用いて秘密基地を作ってイメージを形にする様子も見られた。

【活動中の子どもの様子】

・用意した道具

段ボール、枝（散歩先で拾ったもの）、テープ類、紐、ハサミ、ブルーシート、



初回の活動では子どもたち自身もイメージしたものをどう、組み立てたりしてよいかわからず戸惑う姿があった。

保育者が最初は少し手伝ったり、「箱をつなげてみる？」などの提案をしたりすることで次第に自分たちで作りたいものを作る姿が見られた。

2回目の活動では、友達同士で協力して役割分担をしながら作業を行う姿が見られた。

それぞれが明確なイメージを持っており、迷いなく作り進めていた。

そこまで大きなものはできなかったが、子どもたちそれぞれが小さな秘密基地を作り上げ、嬉しそうに中に入って遊ぶ姿が印象的だった。

戸外での活動のため、時間に限りがあり、時間になると「まだ、やりたい」との声が多数上がった。

4. 振り返り

〈振り返りによって得た保育者の気づき〉

【焚き火体験】

・「火」を起こすのにライターやチャッカマンなどを使うという子が多いと思っていたが火起こしキットを使用して火が起こせることを知っている子もいて驚いた。

→私たちが思っている以上に「火」について知っていることが多かった。

(最近ではIH機器が多く、あまり火を見る機会が少ないと思っていたので)

・「火」を子どもたちにわかりやすく伝える方法(導入)が難しかった。

→身近なものほほどのように伝えるのが難しい。

【秘密基地】

・秘密基地が「どのようなものか」は子どもたちは知ってはいるが「どうやって作るのか？」についてはイメージできていない子が多数いた。

→作り方については実際に保育者も一緒に行くことで初めて知ることがあった。

(最初は室内で行ってみるなどして保育者も作り方を子どもたちと学んでから戸外で行った方がより、作りがいがあったかもしれない)

・室内でも行える活動なので今後、戸外に限らず、室内活動の取り組みとしても行っていく。